



大径木の樹冠。



若い木。



枝先。

区別のポイント

屋久島に自生するマツ類は、ヤクタネゴヨウ、クロマツ、アカマツで五葉性はヤクタネゴヨウのみ。

形態 常緑高木。高さ 25m、直径 1 mほどになる。

分布 屋久島・種子島。屋久島では、西部地域から南部地域の急峻な尾根沿いに分布

名前の由来 屋久島・種子島にある五葉松。

葉 **〈全体〉**五葉性。長さ 5～8 cm、幅約 1 mm。横断面は三角形。青みがかった緑色で、縁に微細な鋸歯がある。

備考 船行森林事務所管内の採種林・見本林の稚樹は食べた形跡あり。また、径 10 cm 程度の小径木は角研ぎをする（白谷展示林、瀬切川自生地など）。

出典 1 4